



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 日本曹達株式会社

コード番号 4041 URL <http://www.nippon-soda.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杵渕 裕

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 丸本 柳太

TEL 03-3245-6053

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	56,240	0.3	1,298	△31.5	2,766	△26.6	2,002	△26.9
24年3月期第2四半期	56,062	1.5	1,894	159.1	3,770	22.1	2,738	35.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 46百万円 (△96.6%) 24年3月期第2四半期 1,362百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	13.17	—
24年3月期第2四半期	18.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	173,249	90,749	49.2
24年3月期	179,230	91,671	48.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 85,249百万円 24年3月期 86,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	11.5	5,200	10.5	7,800	△16.7	5,700	△19.1	37.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	154,317,630 株	24年3月期	154,317,630 株
25年3月期2Q	2,209,741 株	24年3月期	2,207,392 株
25年3月期2Q	152,109,017 株	24年3月期2Q	152,113,245 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報	9
4. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として、生産活動に持ち直しの動きが見られたものの、欧州の政府債務危機等の影響による世界経済の減速や、対外経済環境を巡る不確実性等により、依然として不透明な状況にありました。

化学業界におきましては、海外景気の減速による輸出の伸び悩みや国内需要の低迷に加え、為替相場の円高進行により、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、「中期経営計画（平成22年度～24年度）」の諸施策の完遂に注力する一方、製品価格の改定をはじめ積極的な営業活動を推進いたしました。この結果、農業化学品の輸出向け販売が伸長したものの、景気の低迷に伴う化学品事業や建設事業における需要の減少により、当連結累計期間の売上高は562億4千万円（前年同期並み）、営業利益は12億9千8百万円（前年同期比31.5%減）となりました。

また、経常利益は、持分法による投資利益を計上したこと等により27億6千6百万円（前年同期比26.6%減）、四半期純利益は20億2百万円（前年同期比26.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、組織改正の実施に伴い、報告セグメントの所属区分を変更しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表（6）セグメント情報」をご確認ください。

[化学品事業]

工業薬品は、カセイソーダ、炭酸カリ及びオキシ塩化リン等の減少により、減収となりました。

化成品は、感熱紙用顕色剤や硫黄誘導体等の減少により、減収となりました。

機能材料は、樹脂添加剤「N I S S O - P B」等が伸長したものの、IT産業向けの材料等の減少により、前年同期並みとなりました。

エコケア製品は、水処理剤「日曹ハイクロン」の輸出向けや、ごみ焼却場向け重金属固定剤「ハイジオン」等の伸長により、増収となりました。

医薬品・医薬中間体は、抗生物質中間体A O S A及び抗生物質原体ファロペナムナトリウム等の減少により、減収となりました。

工業殺菌剤は、防虫剤等が伸長したものの、防かび剤等の減少により、前年同期並みとなりました。

以上に加え、Alkaline SAS及びそのグループ会社4社を連結の範囲に含めたこと等により、当累計期間の化学品事業の売上高は174億1千4百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

[農業化学品事業]

国内向けは、殺菌剤「ベフラン」及びその混合剤等が伸長したものの、殺虫剤「モスピラン」等の減少により、減収となりました。

輸出向けは、殺虫剤「モスピラン」、殺菌剤「トップジンM」「パンチョ」等の伸長により、増収となりました。

以上により、当累計期間の農業化学品事業の売上高は137億5千8百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

[商社事業]

各種無機薬品や飼料添加物等が伸長したものの、各種有機薬品や機械・装置等の減少により、当累計期間の商社事業の売上高は161億4千7百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

[運輸倉庫事業]

運送業が堅調に推移したものの、一時的な貨物や輸出貨物の減少等により倉庫業・作業が減収となり、当累計期間の運輸倉庫事業の売上高は18億9千8百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

[建設事業]

土木工事が伸長したものの、プラント建設工事の減少により、当累計期間の建設事業の売上高は41億4千8百万円（前年同期比27.5%減）となりました。

[その他]

当累計期間のその他事業の売上高は28億7千2百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ59億8千万円減少し、1,732億4千9百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金や借入金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ50億5千8百万円減少し、824億9千9百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ9億2千2百万円減少し、907億4千9百万円となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は49.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ39億8千万円減少し、104億5千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は35億1千7百万円（前年同期比40.2%減）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益26億8千7百万円（非キャッシュ項目である持分法による投資利益15億9千5百万円を含む）に加え、売上債権の減少60億4千7百万円、配当金の受取額17億8千9百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は46億3百万円（前年同期比60.3%増）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出37億5千3百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は27億7千9百万円（前年同期比13.3%増）となりました。これは主として、借入金の減少14億9百万円や配当金の支払い9億9百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の見通しにつきましては、欧州の金融不安と中国の景気減速を背景とした世界経済のさらなる下振れや、為替・株式市場の変動等による景気下押しの懸念が強まってきており、なお先行き不透明で厳しい状況が続くものと予想されます。

かかる経営環境のなか当社グループといたしましては、製品の拡販と経費の削減等の取組みによって収益確保に努めるとともに、「中期経営計画」における重点施策である「成長ドライバーの育成」「国際競争力強化」「経営基盤の整備」「グループ結集・強化」に向けた諸施策の完遂に全力を注いでまいります。

通期の連結業績予想につきましては、前回（平成24年5月11日）発表予想に変更はありません。なお、下半期の為替レートは1\$=80円を想定しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

【追加情報】

（役員退職慰労引当金）

当社及び国内連結子会社は、平成24年6月開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度を廃止し、取締役及び監査役に対する退職慰労金を打ち切り支給することとし、その支給の時期は各取締役及び監査役の退任時とすることを決議しました。

これに伴い、当該株主総会までの期間に対応する役員退職慰労引当金相当額403百万円は、固定負債の「その他」に含めて表示しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,844	10,627
受取手形及び売掛金	40,333	34,045
たな卸資産	22,737	25,448
繰延税金資産	1,669	1,777
その他	2,402	3,487
貸倒引当金	△67	△59
流動資産合計	81,919	75,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,048	15,723
機械装置及び運搬具（純額）	13,334	13,181
工具、器具及び備品（純額）	1,723	1,669
土地	14,834	14,839
リース資産（純額）	542	518
建設仮勘定	1,602	3,524
有形固定資産合計	48,084	49,457
無形固定資産		
のれん	2,677	2,502
その他	1,538	1,739
無形固定資産合計	4,216	4,242
投資その他の資産		
投資有価証券	34,706	33,089
前払年金費用	5,280	6,124
繰延税金資産	2,929	2,890
その他	2,161	2,182
貸倒引当金	△66	△63
投資その他の資産合計	45,010	44,222
固定資産合計	97,311	97,922
資産合計	179,230	173,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,753	18,716
短期借入金	35,024	32,013
未払法人税等	354	280
賞与引当金	2,777	1,686
その他	7,795	6,748
流動負債合計	65,704	59,445
固定負債		
長期借入金	12,827	14,413
繰延税金負債	1,627	1,741
退職給付引当金	2,776	2,567
その他	4,623	4,332
固定負債合計	21,854	23,054
負債合計	87,558	82,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,166	29,166
資本剰余金	26,094	26,094
利益剰余金	34,862	35,952
自己株式	△593	△594
株主資本合計	89,530	90,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	851	383
繰延ヘッジ損益	△46	△68
為替換算調整勘定	△4,000	△5,494
年金債務調整額	△201	△190
その他の包括利益累計額合計	△3,396	△5,370
少数株主持分	5,538	5,500
純資産合計	91,671	90,749
負債純資産合計	179,230	173,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	56,062	56,240
売上原価	42,636	42,660
売上総利益	13,426	13,580
販売費及び一般管理費	11,532	12,282
営業利益	1,894	1,298
営業外収益		
受取利息	8	26
受取配当金	213	187
持分法による投資利益	2,437	1,595
その他	500	595
営業外収益合計	3,159	2,405
営業外費用		
支払利息	310	296
為替差損	627	282
その他	345	358
営業外費用合計	1,283	937
経常利益	3,770	2,766
特別利益		
固定資産売却益	42	13
その他	2	—
特別利益合計	44	13
特別損失		
固定資産廃棄損	55	39
投資有価証券評価損	9	33
その他	10	18
特別損失合計	75	91
税金等調整前四半期純利益	3,738	2,687
法人税、住民税及び事業税	608	357
法人税等調整額	280	258
法人税等合計	888	616
少数株主損益調整前四半期純利益	2,850	2,070
少数株主利益	111	68
四半期純利益	2,738	2,002

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,850	2,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△392	△489
繰延ヘッジ損益	1	3
為替換算調整勘定	△270	△221
持分法適用会社に対する持分相当額	△827	△1,316
その他の包括利益合計	△1,488	△2,024
四半期包括利益	1,362	46
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,330	28
少数株主に係る四半期包括利益	31	17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,738	2,687
減価償却費	3,010	2,820
のれん償却額	117	166
賞与引当金の増減額(△は減少)	△96	△1,089
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△70	△196
受取利息及び受取配当金	△221	△213
支払利息	310	296
持分法による投資損益(△は益)	△2,437	△1,595
売上債権の増減額(△は増加)	7,722	6,047
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,633	△2,814
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,494	△630
その他	△1,981	△3,093
小計	4,963	2,382
利息及び配当金の受取額	1,921	1,818
利息の支払額	△311	△292
法人税等の支払額	△695	△390
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,877	3,517
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,480	△3,753
無形固定資産の取得による支出	△84	△475
その他	△306	△374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,871	△4,603
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△623	△3,515
長期借入れによる収入	2,500	5,500
長期借入金の返済による支出	△3,469	△3,393
配当金の支払額	△921	△909
少数株主からの払込みによる収入	395	—
その他	△335	△460
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,453	△2,779
現金及び現金同等物に係る換算差額	△456	△114
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	97	△3,980
現金及び現金同等物の期首残高	13,155	14,434
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,252	10,454

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	15,931	12,851	16,478	2,016	5,725	53,002	3,060	56,062	—	56,062
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,987	16	2,543	720	1,304	11,573	1,568	13,142	△13,142	—
計	22,918	12,868	19,022	2,736	7,030	64,576	4,628	69,205	△13,142	56,062
セグメント利益 又は損失 (△)	1,240	△604	37	311	597	1,582	38	1,620	273	1,894

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	17,414	13,758	16,147	1,898	4,148	53,367	2,872	56,240	—	56,240
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,875	27	2,103	796	1,578	11,382	1,315	12,698	△12,698	—
計	24,289	13,785	18,251	2,695	5,727	64,749	4,188	68,938	△12,698	56,240
セグメント利益 又は損失 (△)	699	△199	83	235	257	1,077	53	1,130	167	1,298

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「農業化学品事業」の区分に属していた工業用殺菌剤は、組織改正の実施に伴い、所属する区分を「化学品事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを表示しております。

変更後の各報告セグメントに属する主要製品は以下のとおりであります。

事業区分		主要製品等	
報告セグメント	化学品事業	工業薬品	カセイソーダ、液化塩素、塩酸、カセイカリ、炭酸カリ、青化ソーダ、青化カリ、塩化アルミ、オキシ塩化磷、三塩化磷
		化成品	金属ソーダ、特殊イソシアネート、アルコラート、有機チタン、ラクテット、各種硫黄誘導体
		染料製品	顔色剤、PSD
		機能材料	NISSO-PB、VPポリマー、透明導電ガラス、チタボンド、ピストレイター
		エコケア製品	日曹ハイクロン、日曹メルサン、テイクワン、ハイジオン、ヌメリ取り剤
		医薬品・医薬中間体	HPC、DAMN、ファロペネムナトリウム、AOSA
		工業用殺菌剤	ベストサイド、バイオカット、ミルカット
	農業化学品事業	殺菌剤	トップジンM、ベフラン、ベルコート、トリフミン、パンチョTF、アグロケア、ストロビー
		殺虫・殺ダニ剤	モスピラン、ニッソラン、ロムダン、コテツ、フェニックス、ピラニカ
		除草剤	ナブ、ホーネスト、クレトジム、ピリプチカルブ、コンクルード
		その他	くん煙剤
	商社事業	化学品、機能薬品、合成樹脂、産業機器・装置、建設関連製品	
	運輸倉庫事業	倉庫・運送業務	
建設事業	プラント建設、土木建築		

4. 補足情報

連結決算概要

1. 連結業績

(単位：百万円)

	24年3月期 第2四半期	25年3月期 第2四半期	増減	25年3月期 (通期予想)	増減 (対前期)
売上高	56,062	56,240	177	135,000	13,881
営業利益	1,894	1,298	△596	5,200	493
経常利益	3,770	2,766	△1,004	7,800	△1,565
四半期(当期)純利益	2,738	2,002	△736	5,700	△1,344

2. セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位：百万円)

		24年3月期 第2四半期	25年3月期 第2四半期	増減
化学品事業	売上高	15,931	17,414	1,482
	営業利益	1,240	699	△540
農業化学品事業	売上高	12,851	13,758	907
	営業利益	△604	△199	404
商社事業	売上高	16,478	16,147	△330
	営業利益	37	83	46
運輸倉庫事業	売上高	2,016	1,898	△117
	営業利益	311	235	△75
建設事業	売上高	5,725	4,148	△1,577
	営業利益	597	257	△339
その他事業	売上高	3,060	2,872	△187
	営業利益	38	53	15
合計	売上高	56,062	56,240	177
	営業利益	1,894	1,298	△596

3. 主要指標

	24年3月期 第2四半期	25年3月期 第2四半期	増減
為替レート(円/\$)	80.3	79.3	△1.0
設備投資額(百万円)	2,057	3,788	1,731
減価償却費(百万円)	3,010	2,820	△189
研究開発費(百万円)	2,598	2,749	151
1株当たり四半期純利益(円)	18.01	13.17	△4.84
総資産(百万円)	163,385	173,249	9,864